

平成29年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 当別町商工会（伴走型小規模事業者支援推進事業検討会）
2. 開催日時 平成30年 4月10日（金） 10時30分
3. 開催場所 当別町商工会館 1階 応接室
4. 出席者 安藤委員長・松岡副委員長
当別町 高松経済部長 森商工課長（オブザーバー）
道商工連 星組織支援課長（藤谷委員代理）
事務局：竹原事務局長・熊谷経営指導員・菅原経営指導員

5. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、安藤委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

（1）平成29年度事業報告について

事務局は平成29年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下のとおり。

①地域経済動向の調査に関すること

取組内容：3金融機関、当別町、商工会による金融懇談会及び創業支援等に係る連絡会議を開催する。

目標：1回 実績：2回

検証結果：最新情報を共有し各々の取り組み内容が把握でき、これらの情報を各事業者へ提供できた。

②経営状況の分析に関すること

取組内容：経営分析・個店診断に係る専門家派遣を実施する

目標：10件 実績：76件

検証結果：9件の診断及び専門的知識による相談等を実施し、報告書にまとめ貴店へのアドバイスとしてフィードバックした結果、各店の課題や問題点が浮上するなど、アドバイスを真摯に受け止め今後の参考にしていきたい、また、取り入れられるものがあれば即取り入れたい等のご意見をいただいた。これらの実施により、各店の経営基盤の強化並びに経営の安定化が図れた。この様な中、ものづくり補助金に取り組み、設備の導入を検討するなど、経営力向上計画の認定にも前向きに取り組むことができた。

③事業計画策定支援に関すること

取組内容1：事業計画の策定支援

目標：10件 実績：16件

検証結果：持続化補助金申請による事業計画策定支援を実施した。(16件)

※9件の採択を受けた

これらの補助金の申請書は事業計画や経営計画など数枚程度の記載で済み、取り組みやすいこともあり各々が貴店のビジョンに沿った事業計画や経営計画づくりができた。

取組内容2：事業計画の策定支援

目標：10件 実績：16件

検証結果：持続化補助金申請による事業計画策定支援を実施した。(16件)

このうち16件中、新規での申請を4件支援するなど、事業計画についてのアドバイスを実施した。

取組内容3：巡回訪問によるフォローアップ

目標：40件 実績：47件

検証結果：日々の巡回訪問による実績を踏まえ、補助金申請による事業計画の策定や金融や税務面に於いてフォローアップを実施した。

また、各事業者とはコミュニケーションが図れ、些細なことでも相談されることが増えた。

取組内容4：創業塾開催による創業支援

目標：1件 実績：1件

検証結果：今回2回目となる「当別創業塾」を実施した。昨年取り入れなかった専門的分野（税務・労務等）をカリキュラムに取り入れ実施した。参加者は11名と少なかったがひとりひとりと向き合えるセミナーとなり、参加者からは大変好評を得た。まだ開業への相談はないが、参加者は確実な1歩を踏み出したと思うので、長い目で見守り、アフターフォローをしっかりと実施していきたい。また、女性へのアプローチも実施した。

④事業計画策定後の支援に関すること

取組内容：創業後の提案型・伴走型支援の実施

目標：1件 実績：4件

検証結果：5年以内の創業者に対し、税務・金融といった基礎的な支援に加え、専門的な相談業務にも積極的に取り組み、全面的にバックアップを図り経営の安定に繋げた。

⑤需要動向調査に関すること

取組内容：過去のデータでの消費者の需要を把握 他

目標：10件 実績15件

検証結果：過去に実施してきたプレミアム商品券、商工会発行の商品券等やサマーセール、道の駅クーポン券の消費動向について、巡回訪問時のツールとして活用する。各事業者への情報提供として、サービスや売上の向上など提案型支援に繋げた。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

取組内容1：当会主催の展示会・商談会の開催

目標：1件 実績：1件

検証結果：当会主催の商談展示会を実施し、各事業者の販路開拓、販路拡大を目指す。参加事業者は減ったものの、今回で5回目の開催となり、各々商談件数も年々増回傾向にある。課題としては、新規事業者を取り入れたい。

取組内容2：各機関主催の展示会・商談会への参加

目標：2件 実績：2件

検証結果：各事業者が販路開拓、販路拡大を図るため、大都市圏で開催する各機関主催による商談会・展示会へ参加する。全2回（札幌・東京）2事業者が出展した。結果としては、その場での商談には至らないが、数多くの名刺交換や後日サンプルの提供等、成約に向けた確実な一歩を踏み出している。

(2) 平成30年度事業計画及び予算について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成30年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

(3) 事業の評価・見直し結果の内容について

◎各委員の意見等は下記のとおり。

- ・森 課 長・・・決算書⑭展示会等実施・出展費について、主にどの様な経費なのか？
- ・事 務 局・・・主に出展者の旅費、出展料、什器備品代、運送料である。
- ・森 課 長・・・ものづくり補助金は何件採択されたのか？
- ・事 務 局・・・只今申請中の案件である（4/27 締め切り）
また、採択に向け専門家を派遣した経緯などを説明する。
- ・松岡委員・・・資料1の次年度補助金活用有無で、無とあるのは事業に取り組まないという事なのか？

- ・事務局・・・全ての事業に取り組み、無とあるのは補助金を活用しなくともできる事業である。
- ・星課長・・・事業計画に於いて、もう少し実績を盛り込むべきである。
- ・事務局・・・精査し可能な限り盛り込んでいく。
- ・星課長・・・創業塾などは、町が国からの創業支援認定を受けているのであれば、町との連携を図っていることを明記すべきである。
- ・事務局・・・町とのタイアップについて明記したい。
- ・星課長・・・商談会に於いて、なぜ大阪なのか？大阪へ出展する動機付けが弱いと感じる。
- ・事務局・・・精査し明記致します。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、第1回伴走型小規模事業者支援推進事業検討会を閉会した。

終了時刻：11時25分
以上